

Feature Articles

2024メディア展望(後編)

- 12 アマゾンウェブ サービス ジャパン(AWS)… クラウドサービス
山口賢人氏 インダストリー事業開発部 シニア事業開発マネージャー
- 14 ジェイ・スポーツ(J SPORTS)… 衛星放送 & 動画配信
長谷一郎氏 代表取締役社長
- 16 野村総合研究所(NRI)… コンテンツ産業と生成AI
本多立駒氏 シニアコンサルタント、山岸京介氏 シニアコンサルタント
松永拓磨氏 コンサルタント
- 18 スカパーJSAT… 宇宙ビジネス
笹尾祥吾氏 宇宙事業部門 経営企画部 経営戦略チーム長

Close-Up New Tech

- 8 Ruijie Networks Japan(株)

Close-Up New Solution

- 10 サイバー・ネット・コミュニケーションズ(株)

Special Report & Topic

- 52 時代劇専門チャンネル
53 スカパーJSAT

New Serise

- 20 ミュージックツーリズムの可能性 文/八木良太

Series Articles and Columns

- 22 放送ビジネスの政治経済学 ② 文/音 好宏
- 24 世界のメディア曼陀羅華『『ケーブル年鑑2024』を読む④』 ②⑤ 文/猪股英紀
- 28 地産飛翔~ケーブルビジネス関連動向(気になるトピック / 機器チェック!)
- 34 サテライトの潮流を探る ④ 文/神谷直亮
- 36 市民メディアの現場から ⑤ 取材・文/鈴木賀津彦
- 37 自他傍和困我也(じたばたわいがや) ④ 文/穂積 融
- 38 アジア衛星TV最新情報 ②⑥ 文/長瀬博之
- 40 日本で受信可能なアジア衛星TV一覧
- 46 Official Information
衛星放送協会 / 日本ケーブルテレビ連盟 / 日本CATV技術協会 / 日本ケーブルラボ / CRI
- 50 ワハハ本舗 喰始のエンターテイメントのツボとボツ ①⑥ 文/喰 始
- 51 Information 新作映画紹介 & Convention
- 54 NEWS FILE 2023/12/28~2024/2/2

DATA

- 32 CS-CHANNEL RANKING

- 60 定期購読のおすすめ
61 購読オーダーシート
62 バックナンバー

※福田 淳氏の「考えるメディア」は、今号もお休みさせていただきます。

〈読者の皆さまへ〉

「DATAページ」(各プラットフォーム別加入状況および業界動向データ、CS/BSベイテレビ接触率ランキングなど)の掲載を今号も見送ることとなりました。上記各種データは、誌面には掲載していませんが、2024年2月10日に弊社HP (<https://www.satemaga.co.jp/>)にPDFにてアップしております。お手数ですが、こちらから閲覧くださいますようお願い申し上げます。

2024年2月10日

サテマガ・ビー・アイ(株) 月刊「B-maga」発行人 一瀬悦子/編集長 池和田一里



有料放送&VODビジネスがわかる! 新社会人にもオススメの一冊



メディア融合時代到来!

【コンテンツ至上主義】視聴者が「選ぶ」メディアは?

多チャンネル放送研究所 + 音 好宏(上智大学教授&多チャンネル放送研究所所長) 編著

急速に台頭してきた有料動画配信サービス(OTT)の利用実態や、その潜在的ニーズ等を明らかにするとともに、多チャンネル放送に与える影響、多チャンネル放送とOTTとの関係等を分析。メディア融合時代の多チャンネル放送の今と未来を読み解きます。

定価:2,200円(税別)

- 編著:多チャンネル放送研究所 + 音 好宏所長
- 編集・発行:サテマガBi
- 発行日:2016年12月25日
- ページ数:182ページ
- サイズ:A5判



※購入は大手書店、Amazon、サテマガBi HPにて



CLOSE SHOT

スカパーJSATが公開した被災地の衛星画像(Planet社提供)

能登半島地震の被災地で衛星サービスが貢献

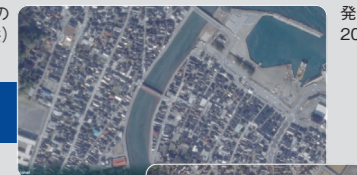
令和6年能登半島地震により被災された全ての皆様に心よりお見舞い申し上げます。被災された皆様の生活が一日も早く平穏に復することをお祈り申し上げます。

2024年1月1日に発生した能登半島地震の被災地では、通信の復旧に携帯電話各社が奔走し、なかでも衛星通信サービス「Starlink(スターリンク)」が貢献した。

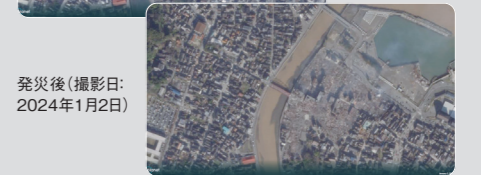
「スターリンク」は米国スペースXが5,000機以上の小型衛星を使って、宇宙からインターネット接続を提供するサービスで、ロシア侵攻で通信網の被害を受けたウクライナにも提供されている。日本ではKDDI、ソフトバンク、NTTドコモ、スカパーJSATがスペースXと業務提携し、昨年から順次サービスを開始している。

能登半島地震においては、KDDIが1月7日に能登半島の避難所などに「スターリンク」の端末350台を無償提供、ソフトバンクも1月7日より石川県内の行政機関や公共施設等に100台を無償提供しており、以降も総務省や石川県と連携の上、設置作業を順次進めていくとしている。また、KDDIは1月10日に、石川県の珠洲市と輪島市のDMAT本部に計50台のスターリンク端末を提供している。

加えて、衛星リモートセンシングによる衛星画像が各社から提供され、被災状況の分析に貢献している。スカパー



発災前(撮影日:2022年3月2日)



発災後(撮影日:2024年1月2日)

JSATがPlanet社のSkySat衛星で撮影した能登半島地域の地震前後の衛星画像を、スカパーの公式サイトで無料公開したほか、宇宙ベンチャーのアクセルスペース、バスコ、JAXA等が衛星画像を公開、災害対応機関、報道機関、研究機関等で活用されている。